

中小企業ぎふ

Vol.672

2021年5月25日 隔月25日発行

岐阜県中小企業団体中央会

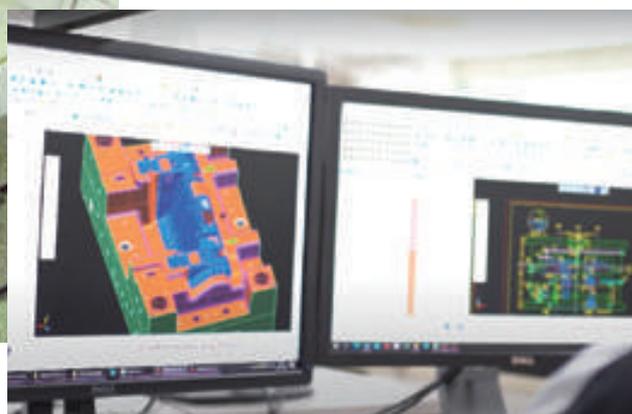
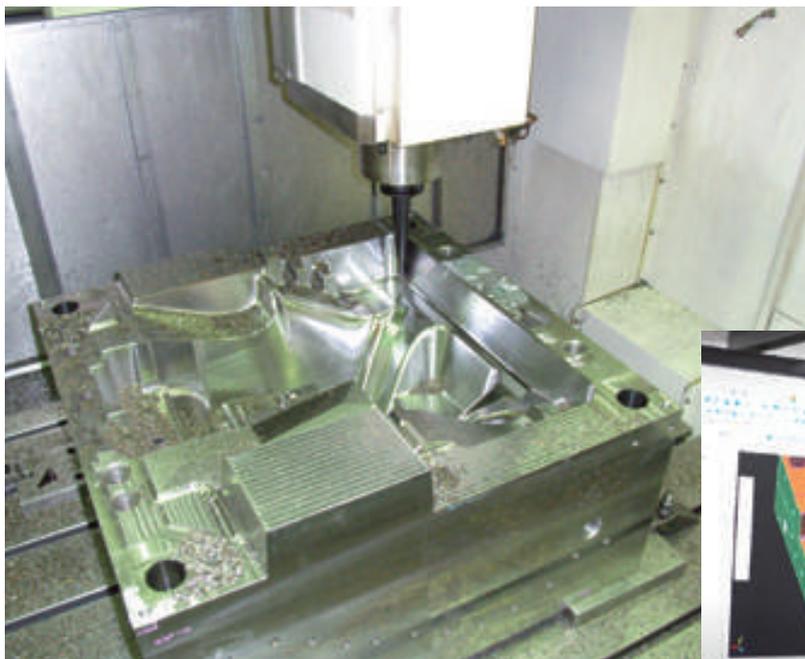
岐阜市数田南5丁目14番53号
OKBふれあい会館9階

☎ 058-277-1100

HP <http://www.chuokai-gifu.or.jp>

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、組合・中小企業の挑戦を応援します～



組合紹介 2~3

岐阜県グリーンサービス協同組合

クローズアップ企業 4~5

岐阜県金型工業組合 組合員

「株式会社黒田製作所」

専門家コラム

「今をどう見る～生き残りツールとしての情報」 6~7

組合等の活動 8~9

- ・岐阜問屋町二丁目(協)
- ぎふアートウォール完成式を開催
- ・(協)下呂ショッピングセンター
- シトラスリボンで新型コロナウイルスによる差別防止を啓発
- ・笠原商業開発(協)
- 地元タイルを使ったキッチンスタジオをオープン
- ・東濃各地で陶祖祭や春のイベントを開催
- ・(協)岐阜関刃物会館 新刃物会館オープン

中央会の活動 10~12

- ・第1回理事会を開催
- ・G-Club ビジネス商談会をハイブリッド形式で開催
- ・コロナショックを生き抜く経営手法セミナーを開催
- ・令和3年度 中央会の実施予定事業紹介
- ・組合等チャレンジサポート事業のご案内

全国の先進組合事例 13

- ・美濃和紙ブランド(協)

新企画 組合イベント情報紹介 13

景況レポート 14~15

産業雇用安定センターからのお知らせ 16

インフォメーション 17

- ・中央会人事異動等のお知らせ
- ・中央会 職員コラム

岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターからのお知らせ 18

組合紹介

こんな活動をしています！

本会は、多種多様な業種・業態の組合等が会員となっており、これが本会の特徴でもあります。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けていますので、皆様の仲間を紹介します。



岐阜県グリーンサービス協同組合

- 理事長 玉田 孝一
- 組合員数 18人
- 設立年月 1997年1月
- 住所 岐阜市天池2丁目17番18号
- TEL 058-245-6710

ニーズに応じて組合員100%事業利用

◆組合の歴史・活動

■組合設立で競争力強化



玉田理事長

当組合は、貸植木業を行う事業者で組織しています。組合員の多くは個人事業主で、組合員数も18人と大きな組合ではありませんが、「花と緑のプロフェッショナル」である自負があります。

当組合は、前身である任意組合での活動を経て、

平成9年に設立されました。任意組合から事業協同組合に法人化を行った経緯には競争力向上が挙げられます。当時、大手や県外事業者の参入により、組合員は受注が上手くいっていませんでした。個人事業主である組合員個社では、大手や県外事業者に太刀打ちできない状況で、このような状況を打破するために組合を設立し、共同受注事業を開始しました。個社では対抗できなくても、組合でなら対抗することができます。共同受注を開始して、県内の仕事は組合や組合員が受注するようになり、当組合の地位を確立することができました。

当組合のメイン事業は、設立目的でもある共同受注事業のほか、若松の共同購買事業です。また、毎月定例会を開催しており、この定例会が、各事業が円滑に実施できている要因でもあります。

■毎月8日に定例会を開催

毎月8日に欠かさず定例会を開催し、組合員同士の情報交換や各々で入手した業界動向等についての意見交換を行っています。ざっくばらんに意見交換が行われるため、組合員同士の経営方針等までも理解し合える程の関係となっています。毎回、ほぼ全組合員が参加しており、何か良い情報を持ち帰っていただけるように、理事長であ

る私も岐阜県の会合に出席した際の情報や東京の業界団体からの情報等を提供しています。また、共同受注事業や共同購買事業についての話し合いもこの定例会で行われます。

■共同受注について

官公庁等から発注される貸植木の共同受注を行い、組合全体で対応しています。発注があった際は、毎月の定



組合員が設置する貸植木

例会の場でどの組合員がどの仕事を担当するかを役割分担して各々で取り組みます。大型施設からの発注には、フローごとに担当の組合員を決め、組合員が順番に共同受注に取り組める工夫をしています。徐々に発注数も増えており、貸植木業や組合の認知度向上を感じています。

■若松の共同購買事業は全組合員が事業利用

年1回、正月の時期にあわせて行う若松の共同購買は全組合員が利用しています。若松は門松の装飾に利用されることから、正月に向けての時期に価格が大変高騰します。また、生産者の減少や近年の気温の変化による産地の変化等、良い若松を確保することが年々難しくなっています。当組合では、共同購買事業のために毎年2万本の若松を仕入れます。2万本もの若松、それも品質の良い若松を仕入れることは一般的に容易ではありませんが、当組合では、仕入先より何とか2万本の若松を手配できています。安価で品質の良い若松が手に入るため、全組合員の事業利用につながっています。



組合で仕入れた大量の若松

◆組合が目指す方向性とは

■プロ意識の向上による継続的な受注、地位向上

組合員には、より一層プロ意識を持って仕事をしてほしいと考えます。発注先は、我々に、観葉植物を適切な手入れをして美しく保つことだけでなく、屋内に適した種類の植物を選んでコーディネートすることも求めていると思います。そのため季節に合わせた色合いの植物を選ぶなど、プラスアルファの提案を行う必要があると思います。そのことにより、継続的な仕事の受注、ひいては貸植木業全体の地位向上につながると思います。

その他には、当組合も参加する今年4月に設立された「ぎふ花と緑の振興コンソーシアム」の活動に期待しています。このコンソーシアムの活動は、花木の生産者、流通業者、大学等の教育機関、金融機関、県・市町村の産学官の異業種が連携し、各々が得意とする技術や知見を融合することで、新たな商品開発や情報発信等の事業を推進すると聞いています。当組合も、貸植木業の立場から役割を担っていけたらと考えます。また、コンソーシアムで得た情報を組合員に還元し、組合の活性化を図っていけたらと思います。

業界豆知識

「観葉植物のメリット」

観葉植物を室内に飾ることのメリットをご存知ですか。観葉植物のメリットは、室内に彩をもたらすだけではありません。ここでは観葉植物の様々なメリットを紹介します。

観葉植物にご興味の方は、「花と緑のプロフェッショナル」岐阜県グリーンサービス協同組合にご相談ください。



・緑の力で室内環境を改善します

観葉植物は、二酸化炭素を吸収すると同時に室内の有毒物質ホルムアルデヒドやカビ、細菌、塵埃も吸収し、人体の健康に有効な成分フィトンチッドや酸素を放出します。植物は、空気清浄機でも取り除けない有毒物質を吸収し、室内の空気を浄化することが実証されています。

・目の疲れを回復させ、緊張感を和らげます

観葉植物などの緑を見ると、視覚疲労が回復し、緊張感が和らぐことが実験で確かめられています。働く空間に緑を置くことは、作業効率を高めることにつながります。デスクワークが続く人は、デスクのそばに観葉植物を置き、たまに手を休めて眺めてみましょう。

・あたたかく、潤いのある環境を作ります

植物には適度な保湿作用があり、エアコンによる過剰な室温低下や空気の乾燥などから、私達の身体を守ってくれる働きがあります。特に冬期には湿度を乾燥状態の30%から快適範囲の50~60%に上昇させることができます。植物は、健康な暮らしと深い関わりがあります。

クローズアップ企業

岐阜県金型工業組合

株式会社黒田製作所

《企業概要》

所在地：羽島郡岐南町伏屋9丁目138番地 電話：058-247-7423

代表：代表取締役 黒田 昌彦

主な事業：プラスチック製品用射出成型金型の設計・製作



本社外観

“常に挑戦者であれ” 成長のキーワードはチャレンジ精神

◎ 御社のこれまでの沿革についてご紹介ください。

◆ 自動車内外装品の金型メーカー



黒田社長

創業は昭和50年で、昭和55年に有限会社黒田製作所として設立されました。その後、平成11年に、有限会社から株式会社に組織変更を行い現在に至ります。

創業から今日まで、事業拡大による工場増築や昭和63年の三次元CAD・CAM導入、海外進出等を行い、時代変化の中で規模を拡大しながら歩んできました。

当社の社員数は150人です。社員数10人以下の事業者が90%を占め、100人以上の事業者は0.1%とごく少数である金型業界の中では、当社は稀な存在と言えます。当社が、規模を拡大できている理由にチャレンジ精神が挙げられます。

◎ 御社の特徴や方針を教えてください。

◆ チャレンジ精神を物語るスピーカーグリルの金型

当社の特徴は、チャレンジ精神です。開発へのチャレンジ精神や古くにはいち早い三次元CAD・CAM導入による木型からの転換や積極的な設備導入、一点ものが求められる金型製作では難しいとされるISO認証の取得等、様々なことに果敢に取り組んできました。

チャレンジ精神を物語る製品にスピーカーグリルの金型が挙げられます。スピーカーを覆うプラスチック部品がスピーカーグリルで、プラスチックになる前は、一般的に布で覆わ

れていました。スピーカーの細かい穴を金型で製作するには、細かすぎると穴が埋まってしまうため、とても高い技術が必要となります。当社でも長い開発の末、やっとの思いで製作を可能としました。当社のスピーカーグリルの金型製作技術は、どこにも負けない技術である自負があります。



スピーカーグリル

現在、自動車部品の大型化や一体化が進んでいます。ドアトリムとスピーカーグリルの一体化のニーズも増えていきます。スピーカーグリルの金型製作は、他社が真似できない技術であり、同業他社が少ない分野であるため、一体化になることで当社のチャレンジ精神を発揮する機会が益々増えていきます。

◆ パートナーシップによる協力体制

多くの型製作を獲得するために、30年前から地元企業と協力体制を構築しております。当社で100%製作するのではなく、協力体制で連携を取りながら製作することで、複数型の製作が可能となっています。近年では、九州や東北の企業とパートナーシップを組み、当社で対応できない遠方の修理等のアフターフォローを協力し合っています。

金型製作は、一点一点メーカーとやり取りをしてオーダーで製作するため、どうしても時間を必要とします。金型業界は後継者不足などの厳しい状況もあり、年々事業所数が減少しています。当社で受注した仕事を協力体制を組んで対応することで、複数製作の受注に対応できるとともに、共存も図っていきたいと考えます。

◆ 未来を担う若手人材

当社は、若い人材が多い事も特徴の一つです。社員の平均年齢は36歳で、業界内でも比較的若い人材が多い

ます。ISO認証の取得やチェックシートの導入などである程度マニュアル化することができており、若い人材でも仕事ができる環境を整備しました。こうした背景もあり、5,6年前から、高卒中心の採用を行っています。20代の従業員には、当社の未来を担ってもらえるように期待しています。

◎ 経営していく上で大切にしていることを教えてください。

◆ 従業員の幸せを考えた取り組み

従業員の幸せを考えて健康セミナーを実施しています。設計担当は、長時間パソコンに向き合うことが多く、正しい姿勢で作業をしないと体調を悪くしてしまいます。姿勢や歩行姿勢に関するセミナーを実施しました。

また、近年、始めたのはお金にまつわる勉強会です。当社は高卒を中心に採用しており、高卒の従業員にとって、初任給は初めて手にする大金だと思います。お金に関する話は学校では習わないため、税に関する話や、ファイナンシャルプランナーを講師に招きライフプランの話をしていただいています。当社で勤めながらのライフプランをイメージしてもらうことは、人材定着にもつながると考えています。

◎ 組合に期待することは何ですか？

◆ 工業高校生金型コンテストによる業界の認知度向上

組合が、人材確保や業界の認知度向上のために始めた地元工業高校と連携を図る「工業高校生金型コンテスト」に期待しています。金型コンテストは、組合員企業の指導のもと、工業高校生が半年以上をかけて金型の設計から製品製造を行い、その技術力やアイデア成果を競うものです。当社も高校生に技術的指導を行うなど、金型コンテストに参画しています。

当社は、高卒を中心に採用をしているため、高校生に金型やものづくりについて興味を持つきっかけとなる金型コンテストの存在は大変ありがたいと思っています。金型はものづくりの根源です。今後は、高校生に限らず、小中

学生までその野を広げて、より早い時期から金型を通じてものづくりに興味を持ってもらえるきっかけ作りも必要と考えます。

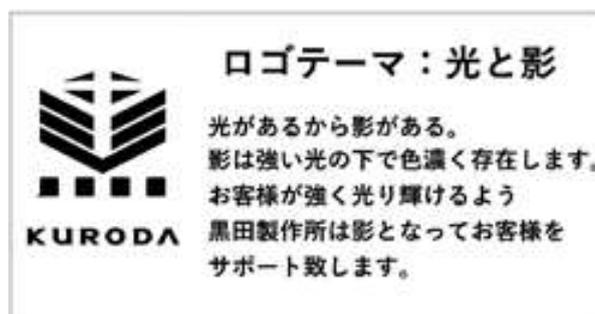
◎ 最後に御社の今後の展望、抱負をお聞かせください。

◆ Always Be A Challenger. 常に挑戦者であれ

「令和」への改元を節目と捉え、会社ロゴマークと制服を刷新しました。平成最終日、社員を前に常日頃から挑戦企業である事やいち早い三次元CAD・CAMの導入、海外進出等、当社の沿革の話をしました。そして、これまでも挑戦企業であったとともに、これから挑戦企業であり続けるため、当社の目標を『Always Be A Challenger.』に設定しました。

求められる技術は年々高くなっています。コストダウンにより成形しづらい材料が使われるようになり、こういった材料変化にも対応した金型の製作が求められます。また、自動車は自動化や電動化等、「100年に一度の大変革の時代」に入っています。当然、自動車部品も変化しており、自動車の進化に生産体制をフィットさせていくことが今後の課題となってきます。

刷新した会社ロゴマークのテーマは、『光と影』です。お客様が光で当社が影です。光であるお客様が輝けば、影である当社も色濃く存在します。素材にカタチを与えることが金型産業です。お客様が強く輝けるように、当社は影の存在となってお客様をサポートします。そのために、これからも挑戦を続け、歩んでいきます。



刷新した会社ロゴマーク

【組合概要】 岐阜県金型工業組合

代表理事 加藤 丈詞(株式会社カトーメテック)

岐阜市柳津町北塚4-85

組合員数：28名

主な事業：指導教育事業、情報提供事業



工業高校生金型コンテストの様子

※組合員企業の掲載希望がございましたら、企画振興課までお知らせください。

今をどう見る～生き残りツールとしての情報

このコーナーでは、神戸国際大学経済学部 中村智彦教授より折々に感じておられる組合・中小企業向けの有益な情報についてご執筆いただきます。組合運営、企業経営にお役立てください。

コロナ後、戻ると考えている消費者は半分 ～ 元には戻らぬと考えて次に備えよ

第三次緊急事態宣言が発出され、じわりじわりとその悪影響が顕在化しつつある。その中で、私たちの生活スタイルも変化し、それが定着しつつある。「新常态」などと呼ばれる向きもあるが、コロナ禍によって変化した生活スタイルが徐々に定着し、それが今後も継続するのではと考える人も増えてきている。

「コロナが収まれば、元のように戻る」と考えてきた人も、ここへ来て、「元には戻らず、新たな局面が定着する」と考えを変えてきているのではないだろうか。

・半分の人が収束しても、支出は元には戻らないと考えている

図表1のアンケートによると、コロナ禍後に元の生活スタイルに戻ると考えている人は約半分。多くの人が、元の生活には戻らないと考えていることがわかる。この調査は、今年2月

に実施されており、その後の第三次の緊急事態宣言、まん延防止策の発出などを経て、このように考える人は増えていることも考えられる。

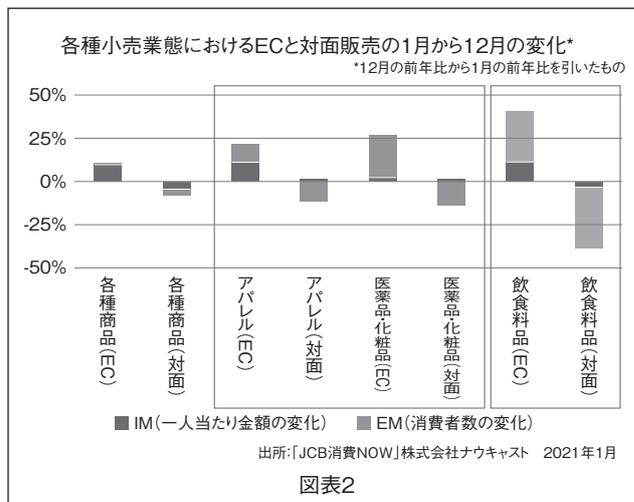
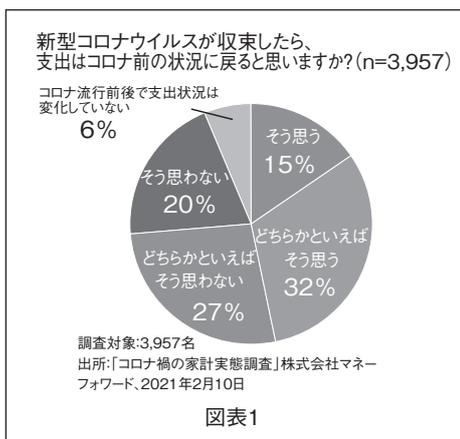
50歳代の会社員の男性は、「在宅勤務は、以前から議論されてきたが、これまではできない理由を各部署が並べて、先延ばしにしていた。しかし、この一年で否応なしに導入が進んだ。部署によっては、在宅勤務にすることで、経費の削減などに繋がると経営陣が判断し、今後も導入される可能性が高くなっている」と言う。別の40歳代の会社員は、「うちでは、飲まないで何が営業の仕事だという雰囲気だったのが、すっかり影を潜めてしまいました。オンラインで新たな仕事を決めてくる若手も出ており、何をにおいても仕事の後は飲みに行くということは過去のものになってしまいました」と苦笑する。50歳代の女性経営者は、「コロナが収束しても、以前のように頻りに職場の人間で集まって、飲み会をするということは無くなるでしょう。若い社員の間でも、自宅で夕食を食べるのが普通に

なっており、その傾向はこれからも続くのではないのでしょうか」と言う。

・コロナ禍でネット通販が普及

こうした行動の制限による変化は、もっと身近に、そして着実に表れている。図表2から理解できることは、コロナ禍によって多くの人が、モノを購入する際に対面から、ネット通販に切り替えたということがわかる。首都圏のある商店街組合理事の男性は、「これまで高齢者はネット通販など使おうとしなかったし、必要を感じていなかった。しかし、コロナ禍で感染をさけるために、高齢者でもスマホやパソコンを使って、ネット通販の利用を始めている。そして、その便利さを実感しており、コロナ禍が過ぎても、元に戻るとは思えない。コロナ禍が一段落して、商店街に人が戻ってきたとしても、それは人が戻るだけで、以前と同じようには買い物しないだろう。ネット通販に負けないような特色を明確に打ち出さなくては生き残れない」と言う。

ネット通販に関しては、これまでは高齢者への浸透には時間がかかると考えられてきた。しかし、コロナ禍によって、ネット通販の利用が急激に拡大している。同じように利用が拡大したのが、外食に代わってのデリバリーサービスだ。形を変えて出前とも考えられるが、若い世代を中心にデリバリーサービスを使うことが、一気に広がっている。



・個人の生活への価値観の変化

首都圏のある製造業中小企業の経営者は、以前から取り組んでいた調理器具の売れ行きが上昇していると言う。

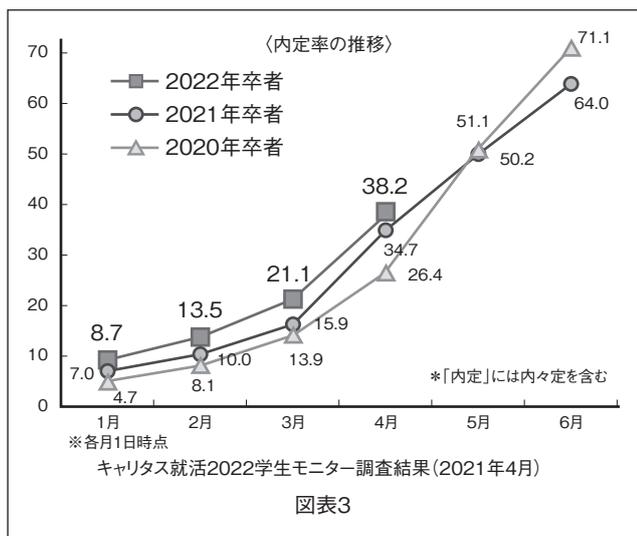
「在宅勤務や外出先が限られることから、自宅などで料

理をする人が増えており、これまでだと量販店のものと価格面で勝負ができなかったのが、より高級で他にはないものをという消費者からの問い合わせが増えてきた」と手ごたえを感じていると言う。キャンプ用品や調理器具が、コロナ禍で人気を呼んでいる。コロナ禍で在宅勤務などが増加し、家族との時間が増えたことで、日々に生活への価値を重視する人が増えている。

・「学生の就職活動は厳しいから、採用しやすい」という誤解

実はこうした流れは、コロナ禍以前から進んでいた。若い世代にアンケートを取ると、年々、仕事よりもプライベートを重視する、多少給与が低くても転職がない仕事をと回答する人が増えてきた。今回のコロナ禍は、そうした流れを一層、加速し、定着させる可能性が出てきている。

中小企業経営者の中には、「若年層の人口減で、中小企業にとっては採用難だったのが、コロナ禍で景気が低迷し、新卒採用でもチャンスがでてくる」と考える方がいるが、本当だろうか。図表3は、2022年春に卒業する大学の現4年生の就職内定状況を示したものである。驚いたことに、このコロナ禍において、就職内定率は、コロナの影響が出ていた昨年はもちろん、影響のなかった一昨年よりも上昇している。



さらに、学生たちの各種のアンケート結果を見ると、仕事よりもプライベートを重視する傾向が強まってきていた。そして、このコロナ禍でさらに拍車をかけているとみられる。こうした中で、在宅勤務や有休の取得促進などを行い、若年社員の採用を積極化する企業も多く出てきている。

・K字回復の恐ろしさと変化への対応

第三次緊急事態宣言の発出以降、「K字回復」という言葉が良く使われるようになってきている。通常であれば、景気など状況の改善によってV字あるいはU字回復となるはずだが、今回は、K字。つまり、コロナ禍以降にも回復する企業と、さらに衰退する企業の二極分化するというのだ。

その理由は、「元には戻らない」ことにある。コロナ禍による人々の生活スタイルの変化は、一面、企業の経営にマイナスの影響を与えると考えがちだ。しかし、一方で新たなチャンスを生み出す可能性がある。

さらにもう一点、経営者として注意すべき点がある。それは、現状は落ち込みが少ないが、今後の変化の流れの中で、その維持が困難になる可能性が出ている事業があると言う点だ。例えば、SDGsや地球温暖化などの問題から、自動車の電動化、あるいは二酸化炭素削減の動きなどは、まだ本格化していないものの、この一年で急激な変化と進展を見せている。今後、5年から10年という短い期間で、現在、収益を上げている事業の運営そのものを見直さなくてはいけなくなっている企業も多いはずである。

この一年半ほど、私たちは、どうしてもコロナ禍についてばかり注目をしてきたが、その背後では、事業運営、経営に大きな影響をもたらす変化が急速に進行している点に注意が必要である。緊急事態宣言やまん延防止策などの発出によって、経営状況が厳しい中で、そんな先のことなど考えられないという悲鳴も聞こえてくるが、残念ながら「少し我慢すれば、元に戻る」ということは、なさそうである。



中村 智彦
(なかむら ともひこ)

【ホームページ】 <http://monodukuri.jp/>

【常勤】 神戸国際大学経済学部 教授

【非常勤】 関西大学商学部 非常勤講師・日本福祉大学経済学部 非常勤講師

【専門】 中小企業論・地域経済論

【略歴】 昭和39年 東京都生まれ

昭和63年 上智大学文学部卒業

平成12年 名古屋大学大学院国際開発研究科博士課程修了 (学術博士・名古屋大学)

【活動】 愛知県「愛知ブランド」認定委員・京都府向日市ふるさと創生計画委員会座長

東京都北区産業活性化ビジョン検討委員会副委員長・山形県川西町第5次総合計画アドバイザー
やまがた里の暮らし大学校「まめ学部」学部長

<http://www.facebook.com/mamenoarumachi>

組合等四活動

ぎふアートウォール完成式を開催

岐阜問屋町二丁目協同組合（汲田義明理事長）

岐阜問屋町二丁目協同組合は、中小企業庁「令和2年度補正商店街活性化・観光消費創出事業」に取り組み、組合の南壁に広がる全長130mのレトロ壁にアートウォールを描いた。そのアートウォール完成式を3月27日に壁面前で開催した。

アートウォールは、JR岐阜駅前に広がる繊維問屋街の一角にある老朽化したビルを彩ることで街に活気を取り戻そうと企画され、青空や雲、海をイメージした壁画が描かれている。

汲田理事長は、「アートウォールを見に、若い方が集まり駅前の賑わいにつながれば。ビル1階の未塗装部分は、今後、参加者を募って仕上げてきたい」と語った。



完成式の様子

シトラスリボンで新型コロナウイルスによる差別防止を啓発

協同組合下呂ショッピングセンター（井上一徳理事長）

協同組合下呂ショッピングセンターは、新型コロナウイルス感染症による偏見や差別をなくす気持ちが込められた「シトラスリボン」を従業員に配布し、従業員は名札にリボンを着け接客している。リボンの製作は、益田清風高校（下呂市）が行った。

シトラスリボンは、新型コロナウイルスの患者やその家族、医療従事者等に対する差別や偏見の防止を目的とする愛媛県発祥の「シトラスリボンプロジェクト」のシンボルである。益田清風高校は、シトラスリボンプロジェクトに賛同し、リボンの製作を行っている。

当組合職員の中川氏は「地元高校生の活動に賛同している。私たちもお客様へ接客する中で、差別防止の啓発を行っていき」と語った。



シトラスリボン

地元タイルを使ったキッチンスタジオをオープン

笠原商業開発協同組合（加藤恒文理事長）

笠原商業開発協同組合が運営、管理する「笠原ショッピングプラザMINE（マイン）」内に、地元タイルをふんだんに使用したキッチンスタジオがオープンした。

マインが位置する多治見市笠原町は、タイル生産量日本一を誇るまちである。マインは地元産タイルを館内のいたるところで使用しており、今回オープンしたキッチンスタジオにも、壁やキッチンの側面・背面等といったいたるところに地元産タイルを使用している。

キッチンスタジオは、料理教室の開催のほか、一般の方も利用できる。また、キッチンスタジオとキッチンスタジオ前の交流スペースを活用してさまざまなイベントを実施していく。

加藤理事長は、「来店いただいたお客様に地場産業の魅力を伝えるきっかけとなれば」と思いを語った。



タイルを使ったキッチンスタジオ

東濃各地で陶祖祭や春のイベントを開催

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会傘下のうち10組合は、各地区で美濃焼産地恒例の陶祖祭を厳かに執り行った。陶祖祭は、美濃焼産地の礎を築き上げた祖先及び中興の師祖の偉業を尊び称えるとともに、今後一層の振興発展を祈念する祭事として、各地域の陶祖碑や墓前で行われるもの。これらを記念して各種行事も開催された。

下石陶磁器工業協同組合では、陶祖祭と合わせて下石焼陶祖四百年祭、四百年記念講演会を開催した。講演会では「下石焼と陶祖」をテーマに下石の焼き物に関する歴史についての講演があった。

また、各地域で春の陶器祭りが開催された。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされたが、今年は、感染症対策を講じての開催やオンラインでの開催等、ニューノーマルに対応した形で開催された。

オンライン陶器市「土岐市美濃焼祭り～水辺の陶器マルシェ～」は、目標を大幅に超えるサイト訪問があり、開催期間を延期するほど好評で、全国の焼き物愛好家に美濃焼をPRする機会となった。

○陶祖祭と関連行事

【高田】4/4陶祖祭 【瑞浪】4/4陶祖祭 【妻木】4/10陶祖祭 【市之倉】4/10陶祖祭

【下石】4/11陶祖祭、下石焼陶祖四百年祭、四百年記念講演会

【肥田】4/11陶祖祭 【笠原】4/11陶祖祭 【駄知】4/17陶祖祭 【土岐津】4/18陶祖祭 【泉】4/18陶祖祭

○イベント

4/10-11たじみ陶磁器祭り(4/10-5/9たじみ陶器まつりオンライン会場)、

4/17-5/10オンライン陶器市「土岐市美濃焼祭り～水辺の陶器マルシェ～」、4/28-5/31WEB土岐美濃焼まつり



下石陶祖祭・下石焼陶祖四百年祭

新刃物会館オープン

協同組合岐阜関刃物会館（田中彰理事長）

協同組合岐阜関刃物会館が管理運営を行う刃物会館は、隣地への新築移転し、3月19日に新築オープンした。新築移転にあわせて、名称を「協同組合岐阜県刃物会館」から「協同組合岐阜関刃物会館」に変更した。

関は、世界三大刃物産地の一つであり、日本国内においては一番の刃物生産量を誇る。「関の刃物」の魅力の一つは多様性にあり、100を超えるメーカーが包丁・ハサミ・ナイフ・カミソリ・爪切り・彫刻刀などのあらゆる刃物を製造している。刃物会館では、組合員である各メーカーから選りすぐった製品を数多く取り揃え、直売所で共同販売を行っている。

旧刃物会館は、築53年が経過し、老朽化が課題となっていた。新築オープンにあたっては、令和元年度から2年度にかけ、中央会「組合等ブランド強化支援事業」を活用し、デザイナーであるDesignWater代表の鷲見栄児氏と設計事務所(有)大建met代表の平野勝雅氏を専門家に迎え、新刃物会館のコンセプトや運営方針について検討を重ねた。検討を重ねた結果、コンセプトに『あなたにぴったりの刃物と必ず出会える場所。』を設定し、新刃物会館では「関の刃物」のあらゆる刃物を製造する“多様性”という魅力を十二分に発信する。

刃物会館は、業界の振興・発展に貢献する役割を担うほか、組合員の製品を共同販売する施設でもある。会館リニューアルを機に、旧刃物会館では十分でなかった情報配信にも力を入れるべく、伝統ある関の刃物の紹介や刃物メーカーである組合員の紹介を行うPR映像の制作を行った。映像により来館者に“関の刃物”の魅力を伝え、直売所での販売促進や来館者をリピーター化する「関ファン作り」に繋げる。PR映像の制作にあたっては、中央会「組合等活動応援成事業補助金」を活用した。

オープン記念式典の開会にあたり、田中理事長は、「念願の新刃物会館がようやくオープンできた。関市の刃物業界の新たな拠点として業界発展に寄与できれば」とあいさつした。

新刃物会館隣には関市の地域交流施設「せきてらす」も併設され、新刃物会館とともに関市の『刃物ミュージアム回廊』の新たな拠点となる。



オープン記念式典 テープカットの様子

中央会活動

第1回理事会を開催

中央会は、今年度第1回理事会を4月21日にホテルグランヴェール岐山で開催した。開会にあたり、今井会長が「新型コロナウイルス感染症は第4波に入り拡大している。ワクチン接種に期待するところであるが、国内の接種は遅れており、この遅れが世界から日本の経済回復が遅れることに繋がるのではないかと危惧している。コロナ終息後は、日本の社会は変貌することが推測される。中央会としても、令和3年度事業は、IoTなどを取り入れて対応していきたい」とあいさつがあった。次に議案審議に入り、今井会長が議長に就任し、第66回通常総会提出議案、通常総会の日程、参与の委嘱について審議が行われ、全て原案どおり可決決定した。



開会にあたり今井会長が挨拶

【新規加入組合】

期間：2020年11月27日（前回理事会）～2021年4月20日

【1号会員】	APE事業協同組合（岐阜市・16名）	清新協同組合（岐阜市・4名）
	全兼協同組合（岐阜市・9名）	協同組合シューズチェーン・ネットワーク（羽島市・51名）
	岐阜県家畜商協同組合（岐阜市・298名）	岐阜包装協同組合（関市・7名）
	アジアリサーチ協同組合（岐阜市・18名）	協同組合到来クリエイト（羽島郡笠松町・10名）
	ニューパワー東海協同組合（美濃加茂市・22名）	※（ ）内は所在地と組合員数

G-Club ビジネス商談会をハイブリッド形式で開催

「ものづくり補助金」に取り組んだ事業者で構成する「ぎふものづくり連携倶楽部（G-Club）」は、3月17日に、じゅうろくプラザで、ものづくり補助金に取り組んだ事業者の新規取引先の開拓・受注拡大を図るため、全国各地から集まった発注企業（バイヤー）との商談会を開催した。

本商談会には62社（発注企業23社、受注企業（ものづくり補助事業者）39社）が参加し、88件の商談を行った。従来の対面形式による商談手法に加え、新型コロナウイルスの感染リスクを無くし、遠方の企業からも参加しやすい“オンライン手法”も取り入れたハイブリッド形式で実施し、参加したものづくり補助事業者は、自社の技術や売り込みたい製品をバイヤーにPRした。

参加者からは「今後の取引に繋がりそうな話があった」、「普段会えない企業と面談させていただき深い話が聞けた」といった声が多く寄せられた。



オンライン商談会の様子

コロナショックを生き抜く経営手法セミナーを開催

中央会は、コロナ禍を生き抜き、魅力ある企業を未来へ承継するため、「コロナショックを生き抜く経営手法セミナー『外部環境の変化に対応した事業承継及び事業継続に必要な発想』」と題した全2回のセミナーを開催した。

講師は、中小企業専門経営コンサルティング会社である（株）ディセンター代表取締役の折原浩氏が務め、テーマ「ニューノーマル時代の経営手法」を3月10日、「外部環境の変化に対応したビジネスモデルの創出」を3月18日に開催した。

折原氏は、「新型コロナウイルス感染症は、全世界が未経験の事態であるため何が正解かはわからないが、環境変化に対応する経営手法にビジネス再構築がある」と解説。全2回のセミナーを通して事業再構築補助金やイノベーションマトリックス（（株）ディセンターが開発し、特許を取得しているビジネスモデル創出手法）の解説を行い、コロナ禍を乗り越えるためのビジネス再構築手法を説明した。



セミナーの様子

中央会日誌

(3月22日～5月20日)

【中央会事業】

3月23日 中央会 正副会長会議
4月15日 中央会 監事会
4月21日 中央会 理事会

組合等ブランド強化支援事業

3月25日 岐阜県可児工業団地（協）（鳥羽工業（株））

組合等支援事業

4月5日・7日 川崎岐阜協同組合
4月20日・21日 岐阜県印刷工業組合

【出席会議等】

3月22日 岐阜地方最低賃金審議会
3月24日 「大都市バイヤー個別商談会事業委託業務」プロポーザル評価会議
4月 8日 岐阜県新型コロナウイルス感染症対策協議会
4月23日 対策本部本部員会議
5月 7日
4月 9日 岐阜市新庁舎完成式典・内覧会
5月17日 岐阜地方最低賃金審議会

◆中央会 第66回通常総会のご案内

【日 時】令和3年6月16日（水） 13:30～ 【場 所】岐阜グランドホテル

※「中小企業ぎふ」Vol.671（3月25日）のご案内時から時間が変更になりました。
（変更前「15:30～」 変更後「13:30～」）

特集 令和3年度 中央会の実施予定事業紹介

連携の力で無限の可能性にチャレンジ!

～中央会は、「ウィズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します～

『連携の力で無限の可能性にチャレンジ!～中央会は、「ウィズ・コロナ時代」の組合・中小企業の挑戦を応援します～』を新たなスローガンに掲げ、中央会の恒常的活動である巡回、窓口相談等により把握した組合及び中小企業者のニーズに対し、課題解決策の提案、研修会開催、情報提供などに取り組みます。また、ウィズ・コロナ時代における新事業展開や新事業創出に取り組む組合・中小企業を積極的に支援します。

今年度は主に下記の事業を実施する予定です。(下線は新規事業) その他の事業については通常総会議案書をご覧ください。また、事業の詳細やご不明な点等はお気軽に本会までお問い合わせください。

巡回訪問や相談等による組合ニーズ・課題の把握

組合等への巡回訪問や相談対応、組合役職員等が集う機会等を活用し、ニーズや課題の把握に務めます。

○巡回・相談による組合支援

全職員で取り組みます!

○情報連絡員会議の開催

○事務局代表者懇談会の開催

組合ニーズの実現化及び解決策の提案と実施

組合等が抱える課題等への対応のための事業の実施や施策等の活用を支援します。

○組合等チャレンジサポート事業(旧 組合等ブランド強化支援事業)

組合等の個別の課題に応じて専門家を派遣します。まずは担当指導員にご相談ください。

※事業の詳細はP12をご覧ください。

○組合等支援事業

組合等の研修会等の開催を支援します。

組合での課題解決のための研修等を開催希望される場合は担当指導員にご相談ください。

○組合役員研修会

組合役員を対象とした研修会を開催します。

○業種別情報交換会

特定の業種・業界の課題解決に向けた意見・情報交換会を開催します。

○諸制度改正に伴う専門家派遣等事業

消費税に関して組合の講習会・専門家派遣等も開催できます。

○外国人技能実習制度適正化事業

制度についての研修会開催等を予定しています。

○中小企業組合等課題対応支援事業(全国中央会補助事業)の活用支援

展示会の出展や活路開拓、市場調査など組合事業活動に幅広く活用いただけます。申請については本会でお手伝いします。

○小規模事業者組織化指導事業(全国中央会補助事業)の実施

小規模事業者組合を対象とした事業です。ホームページ作成(リニューアル含む)やチラシ作成等にも使えます。

○販売力強化セミナーの開催

ECサイトやWebサイトを活用した販路開拓セミナーを開催します。

○事業承継セミナーの開催

事業承継において“本当に大切なことは何か”を学びます。

○海外展開支援事業の実施

海外展開を目指す企業等への対策セミナーを開催します。

○「令和元年度補正ものづくり補助金」に係る地域事務局の運営

○「ぎふものづくり連携倶楽部(G-Club)」の運営

ものづくり補助金の実施事業者を対象に、販売促進や販路開拓等のフォローアップ支援を行います。今年度もビジネス商談会等により企業間連携の促進を図ります。

※その他、組合活性化、制度等普及に関する研修会の開催については随時ご案内します。

新たな連携の促進と取り組み支援

中小企業等の多様な連携をコーディネートし、組織化や新たな取り組み等を支援します。

○企業連携講演会・交流会

新たな企業連携を創出するための講演会及び交流会を開催します。

○IT・IoT活用研究会

IT・IoT化を目指す事業者の課題解決のためのワークショップ等を開催します。

組合等の人材確保支援

組合等の傘下中小企業等が求める若者や有能な人材確保を支援します。

○人手不足対応支援事業

SNS、インターンシップを活用した人材確保等に関するセミナーを開催します。

組合等の人材育成支援

次代を担う組織リーダー、女性経営者、組合役職員等の育成を支援します。

○組合青年部の活動支援・研修会等の開催

青年中央会の活動を支援します。

○組合女性部等の活動支援・研修会等の開催

レディースクラブの活動を支援します。

○中小企業組合士の資格取得の奨励

中小企業組合士協会の活動を支援します。

○組合事務局スキルアップ支援事業の実施

組合制度・会計や事業運営など、組合事務局のスキルアップを図る講習会を開催します。

新型コロナウイルス感染症に対する組合・中小企業等支援

「組合等チャレンジサポート事業」、「組合等支援事業」にコロナ対応枠を設け、ウィズ・コロナに向けて支援します。

組合等チャレンジサポート事業をご活用ください

組合、中小企業等のさまざまな課題に対し 専門家を派遣、オーダーメイドのプランで解決！

岐阜県中小企業団体中央会では、
中小企業組合及び組合員はもちろん、任意グループやこれから組織化を検討している方の
様々なチャレンジをサポートするために、**無料の専門家派遣**をおこなっています。

それぞれの課題に応じて手段や解決策を提案するオーダーメイド型のプラン
により、みなさんのチャレンジを応援します！ まずはお気軽にお問い合わせください。

無料
利用者の負担は
ゼロ！

**複数回
OK！**

組合(事業協同組合、商工組合、協業組合、企業組合等)

組合事業の活性化

- ・新たな共同事業を構築したい
- ・既存の共同事業を活性化したい
- ・組合間連携をしたい
- ・地域ブランドを創出したい

組合組織の運営関連

- ・組合の将来ビジョンを策定したい
- ・組織再編をしたい
- ・組織変更をしたい

組織化の相談

- ・組合を設立したい
- ・グループを法人化したい
- ・企業組合・LLP等で起業したい

創業・任意グループ等で
組織化を検討されている方
まずはお気軽に
ご相談ください！

組合員である中小企業等

コロナウイルス関連

- ・オンライン会議ツールを導入したい
- ・市場変化を踏まえた経営計画を策定し直したい
- ・助成金を活用したい

新分野・新商品関連

- ・新分野・新商品開発にチャレンジしたい
- ・自らの強みを活かして、異業種連携をしたい
- ・市場・販路の開拓をしたい

働き方改革関連

- ・テレワーク・電子承認等を導入したい
- ・就業規則を見直したい
- ・ハラスメント対策をしたい

IT・IoT・AI関連

- ・IoT・AIを導入したい
- ・Webを強化したい
- ・DXを実現したい
- ・現場のカイゼンをしたい

事業継続計画(BCP)関連

- ・事業継続力強化計画を策定したい
- ・災害や感染症等に備えた運営マニュアルをつくりたい

その他

- ・SDGsを経営に取り入れたい
- ・消費税法・インボイス制度等様々な法改正に対応したい
- ・知的財産対策をしたい

想定される専門家

複数の専門家でもOK
(例：診断士×デザイナー)

中小企業診断士

総合的な経営改善支援や事業再構築の支援など

社会保険労務士

働き方改革やハラスメントに関する法規制対応など

税理士

消費税関連支援や資金調達に係る各種支援など

弁護士

民法改正による保証の新ルール適用への対応支援など

コンサルタント

事業継続力強化計画やHACCAP対応の認定の支援など

デザイナー

商品開発やWeb・パンフ作成など販路拡大のための支援など

■費用:無料(専門家派遣にかかる謝金・旅費等を中央会が負担します) ※予算がなくなり次第終了します。

■対象:岐阜県内の中小企業組合等、組合員である中小企業、任意グループ、創業等で組織化を検討されている方

■支援内容:個別の課題をお聞かせください。(複数回もOK!)

〈お問合せ〉岐阜県中小企業団体中央会 連携開発課 TEL.058-277-1103

全国の先進組合事例を収集した「先進組合事例抄録（令和2年度組合資料収集加工事業報告書）」より抜粋して紹介します。先進組合事例抄録は過去のものを含め全国中央会のホームページ上で「組合事例検索システム」で公開していますのでぜひ活用ください。 「組合事例検索システム」 <http://jirei.chuokai.or.jp/newjirei/>

美濃和紙ブランド協同組合

「守り」から「攻め」へ、ブランド戦略の転換

主な業種	機械すき和紙製造業 手すき和紙製造業				
住所	岐阜県美濃市蕨生1851-3				
URL	http://www.minowashi-japan.com/				
設立	平成19年8月	組合員	40人	出資金	1,380千円

■ 背景・目的

近年美濃和紙は、国内において重要無形文化財や伝統工芸品に指定され、国際的にもユネスコの世界無形文化遺産登録に認定されるなど、高いブランド力を持つようになってきた。一方で、その技法や品質を維持・向上していくためには、ブランドを維持していくだけではない、新たな戦略が求められるようになった。

■ 取り組みの手法と内容

新たな戦略として、岐阜県・美濃市・本組合が連携して立ち上げた「美濃和紙ブランド価値向上研究会」において、主に①新しい商標登録、②ブランドPRへ取り組むこととし、独自に③組合員向け事業の充実へ取り組んだ。

①新しい商標登録では、ブランド総称を「美濃和紙」とし、新たに「本美濃紙」「美濃手すき和紙」「美濃機械すき和紙」の3つのブランドとして整理した。それぞれに設定した厳しい認定基準をクリアする製品にのみ認定マークを付与することでブランド価値の保護に取り組むこととした。②ブランドPRでは、新規開拓先として国内だけでなく海外を想定し、展示会

等へ積極的に出展していった。国内外を問わず、多くの人々が美濃和紙に触れる機会を増やすことで美濃和紙ブランドの認知度向上を目指した。③組合員向け事業については、地元の電力会社の掲げるSDGsの「持続可能」という理念に共感し、共同受電事業を開始。組合員は安価に電気を利用することができ、組合は代理店手数料を受け取る仕組みを導入した。

これらの取り組みを通じて「美濃和紙ブランド」の発展の道筋をつけることにより、当該組合の組合員の経営基盤強化を可能とし、ひいては業界全体に好影響を生じさせると共に、組合員に対し展望・指針を示すことにもつながった。

今後の新たな取り組みとして、組合員と協力して新しいブランド商品を開発し、販売につなげていくことを予定している。

■ 成果とその要因

美濃和紙のブランドを保護するだけでなく、外部へ積極的に手を伸ばしていったことが成果要因と考える。展示会では国内に留まることなく、海外へも積極的に進出していった。組合員だけでなく、地域の活性化にも取り組んだ。現状の改善に留まることなく、将来に渡る技術伝承を見据えた行動を起こした。これらの事が、発展的な流れを生むことにつながったと考える。

！ キーファクター

自組合に留まらず、外部との連携・協力を意識することができていた。また、海外へのPRといったように、広い視点や時間軸で考えることで、発展的な活動につながった

～イベントの活性化、組合運営のヒントに～

組合イベント情報紹介

新企画

組合イベント情報大募集！ 組合で開催するイベント情報を『中小企業ぎふ』に掲載しませんか？

このコーナーでは、今後、組合が主催するイベントや組合が参加するイベントの情報を紹介し、イベント等の活性化や他の組合の運営のヒントに繋がります。

イベント情報の掲載は次号Vol.673（7月25日発行号）からスタートです。掲載条件等は下記のとおりです。イベントの活性化や組合や業界の知名度アップの機会として是非ご応募ください！

【応募方法】

【申込必要記載事項】

- ①組合名 ②問合せ先 ③イベント名
④開催場所 ⑤開催日時
⑥内容（URL、チラシ等ありましたら併せてお送りください。）

※応募様式は本会HPに掲載しております。

【応募先】岐阜県中央会 会報誌担当

メール kouhou@chuokai-gifu.or.jp

FAX 058-273-3930

【応募締切】2021年6月10日（木）

【掲載基準】

- ・組合主催や組合が参加するイベント（展示会、物産展等）であること。
- ・広く一般の参加が可能であること。

【注意点】

- ※応募は本会会員組合に限ります。
- ※お申込みいただいたイベント情報は、掲載をお約束するものではありません。会報誌に掲載できなかったイベントにつきましては、本会Facebook等で情報の発信を行います。



景況レポート

令和3年
4月末調査
(前年同月比)

中小企業団体情報連絡員70名
の情報連絡票から

〔I〕4月の特色 (調査項目は新型コロナウイルス感染症の影響があった前年同月との比較)

- ◆景況感DI値マイナス35 前月比18ポイントの改善
コロナ禍前の水準に戻りつつあるが、一昨年の業況には達していない等厳しい声が相次ぐ
- ◆全ての主要項目DI値が改善されたが、新型コロナウイルス感染症の影響が出ている昨年4月との比較であるため、回復傾向にあるとは言い難い
- ◆取引先等の状況により、業種内でも景況感のばらつきが顕著となっている

〔II〕4月の概況

当月の概況は新型コロナウイルス感染症の影響が顕著化した時期との比較となる。

当月の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、好転12、悪化47で、DI値はマイナス35となり、前月のDI値マイナス53に対し、18ポイントの改善となった。

業種別の景気動向を前年同月比の景況感DI値で見ると、製造業のDI値はマイナス33となり、前月比17ポイントの改善、非製造業のDI値はマイナス36となり、前月比20ポイントの改善となった。

なお、回答のあった70業種のうち、前月調査より景況感が改善したとする業種は、製造業においては、家具、機械すき和紙、特殊紙、紙加工品、刃物等金属製品(輸出)の5業種(前月比-1業種)であり、悪化したとする業種は、製麺の1業種(前月比±0業種)であった。

また、非製造業において改善したとする業種は、陶磁器卸、機械・工具販売、水産物商業、メガネ販売、石油製品販売、下呂温泉旅館、旅行業、貨物運送(岐阜地区)の8業種(前月比+3業種)であり、悪化したとする業種は、中古自動車販

売、大垣市商店街の2業種(前月比±0業種)であった。

主要な調査項目を見ていくと、売上高DI値はマイナス14で前月比32ポイントの改善、販売価格DI値はマイナス18で前月比8ポイントの改善、収益状況DI値はマイナス33で前月比20ポイントの改善、資金繰りDI値はマイナス22で前月比13ポイントの改善、雇用人員DI値はマイナス20で前月比6ポイントの改善となった。

コメントを見ると、プラスの内容について、製造業では、「コロナ禍の巣ごもりの影響で家庭で使用する刃物の需要が伸び、景況が好転したと思われる。(刃物等金属製品(輸出))」といった内容が報告された。

非製造業では、「機械工具類消耗品及び生産設備の需要は、海外向け、特に中国向けでV字回復が続いている。(機械・工具販売)」といった内容が報告された。

一方で、新型コロナウイルス感染症の影響によるマイナスのコメントも多数報告されており、製造業では、「県独自の非常事態宣言によるイベントの中止、飲食店の営業自粛の影響でチラシなどが減少しており、景況は悪化している。新型コロナウイルス感染拡大、第4波の影響もあり、既にコロナ禍の影響があった昨年をさらに下回る模様である。ゴールデンウィークに予定されていたイベント、セール中止が響いている。(印刷)」、「コロナ禍の影響を受け、当調査の対象となる中小企業エリアにおいて回復企業が増えてきたものの、半数の企業は依然厳しい状況にある。全体的に業種と取引先企業によって景況感格差が見られる。(可児工業団地)」などといった内容が報告された。

非製造業では、「商店街への人の出が悪く、売上が上がらない。自粛で気分が上がって来ず、景況は悪化している。(岐阜市商店街)」、「緊急事態宣言下で、多くが休館していた昨年よりは当然良かったものの、一昨年と比べると半数以下の結果となり、本格的な回復にはほど遠い状況である。(下呂温泉旅館)」などといった内容が報告された。

<主な調査項目での動向>

4月次景況	
項目	DI値
景況	-35 (18)
売上高	-14 (32)
販売価格	-18 (8)
収益状況	-33 (20)
資金繰り	-22 (13)
雇用人員	-20 (6)

カッコ内は前月比増減ポイント

油製品販売、生花販売、下呂温泉旅館、理容・美容業、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)、木造建築である。

売上高が減少した業種は30業種(前月比-13業種)あり、特に一般機械、商店街の区分で多かった。

【販売価格の動向】

販売価格DI値マイナス18、前月比8ポイントの改善。

販売価格が上昇した業種は5業種(前月比+2業種)あり、製造業の食肉(国産)、銘木と、非製造業の水産物商業、石油製品販売、生花販売である。

販売価格が低下した業種は18業種(前月比-3業種)

【売上高の動向】

売上高DI値マイナス14、前月比32ポイントの改善。

売上高が増加した業種は20業種(前月比+9業種)あり、製造業の食肉(国産)、メンズアパレル、婦人・子供服、銘木、機械すき和紙、特殊紙、紙加工品、碎石生産、鋳物、刃物等金属製品(輸出)と、非製造業の陶磁器卸、機械・工具販売、水産物商業、石油製品販売、生花販売、下呂温泉旅館、理容・美容業、土木(岐阜地区)、土木(飛騨地区)、木造建築である。

であった。

【収益状況の動向】

収益状況DI値マイナス33、前月比20ポイントの改善。

収益状況が好転した業種は10業種(前月比+6業種)であり、製造業の食肉(国産)、メンズアパレル、銘木、紙加工品、刃物等金属製品(輸出)と、非製造業の陶磁器卸、生花販売、下呂温泉旅館、土木(飛騨地区)、木造建築である。

収益状況が悪化した業種は33業種(前月比-8業種)であり、特に窯業・土石、一般機械、商店街、サービス業の区分で多かった。

【資金繰りの動向】

資金繰りDI値マイナス22、前月比13ポイントの改善。

資金繰りが好転した業種は2業種(前月比±0業種)であり、製造業の可児工業団地と、非製造業の生花販売である。

資金繰りが悪化した業種は17業種(前月比-9業種)であった。

【雇用人員の動向】

雇用人員DI値はマイナス20、前月比6ポイントの改善。

雇用人員が増加した業種は1業種(前月比-1業種)であり、製造業の鋳物である。

雇用人員が減少した業種は15業種(前月比-5業種)であり、特に一般機械の区分で多かった。



県内中小企業

(4月末調査)

主要業種の景気動向

製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
食 料 品	牛 乳		△	△	△	△	△	△
	食 肉 (国 産)		○	○	○	△	△	○
	菓 子		▲	△	▲	△	△	▲
	米 菓		▲	△	▲	△	▲	▲
	製 麵		▲	△	▲	▲	△	▲
織 維 ・ 同 製 品	撚 糸		△	△	△	△	△	△
	ニ ッ ト 工 業		△	▲	▲	△	△	△
	毛 織 物		△	▲	△	△	▲	△
	合 成 織 維 織 物		▲	△	▲	△	△	▲
	メ ン ズ ア パ レ ル		○	△	○	△	△	△
木 材 ・ 木 製 品	製 材		△	▲	▲	△	△	▲
	銘 木		○	○	○	△	△	△
紙 紙 加 工 品	機 械 す き 和 紙		○	△	△	△	△	△
	特 殊 紙		○	△	△	△	△	△
印 刷	紙 加 工 品		○	△	○	△	△	○
	印 刷		▲	△	▲	▲	▲	▲
化 学 ゴ ム	プ ラ ス チ ッ ク		▲	△	△	△	△	△
	陶 磁 器 (工 業)		▲	△	▲	▲	▲	▲
窯 業 ・ 土 石	タ イ ル		▲	▲	▲	▲	△	△
	窯 業 原 料		▲	△	▲	△	△	▲
	石 灰		▲	▲	▲	△	△	▲
	生 コ ン ク リ ー ト		△	△	△	△	△	△
	砂 利 生 産		△	△	△	△	△	△
鉄 鋼 ・ 金 属	碎 石 生 産		○	△	△	△	△	△
	鑄 物		○	△	△	△	○	○
	刃 物 等 金 属 製 品 (輸 出)		○	△	○	△	△	○
	刃 物 等 金 属 製 品 (内 需)		△	△	△	△	△	△
一 般 機 械	メ ッ キ		▲	▲	▲	▲	△	▲
	県 金 属 工 業 団 地		△	△	▲	△	▲	▲
	可 児 工 業 団 地		▲	△	▲	○	▲	▲
輸 送 用 機 器	金 型		▲	▲	▲	▲	▲	
輸 送 用 機 器			▲	△	▲	▲	△	▲

非 製 造 業		前年同月比						
区 分	業 種	調査項目	売上高	販売価格	収益状況	資金繰り	雇用人員	景況感
卸 売 業	電 設 資 材 卸		△	△	▲	△	△	▲
	陶 磁 器 産 地 卸		○	△	○	△	△	○
	機 械 ・ 工 具 販 売		○	△	△	△	△	○
小 売 業	青 果 販 売		△	△	△	△	△	△
	水 産 物 商 業		○	○	△	△	△	△
	家 電 機 器 販 売		△	△	△	△	△	▲
	メ ガ ネ 販 売		△	△	△	△	△	△
	中 古 自 動 車 販 売		△	▲	▲	▲	▲	▲
	石 油 製 品 販 売		○	○	△	△	△	○
	共 同 店 舗 (飛 騨)		▲	△	△	△	△	▲
	生 花 販 売		○	○	○	○	▲	○
商 店 街	岐 阜 市 商 店 街		△	▲	▲	△	△	▲
	大 垣 市 商 店 街		▲	△	▲	△	△	▲
	高 山 市 商 店 街		▲	△	▲	▲	▲	▲
サ ー ビ ス 業	自 動 車 車 体 整 備		▲	▲	▲	▲	△	▲
	長 良 川 畔 旅 館		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	下 呂 温 泉 旅 館		○	△	○	△	△	△
	高 山 旅 館		▲	▲	▲	▲	▲	▲
	ク リ ー ニ ン グ		▲	△	▲	△	△	▲
	広 告 美 術		▲	▲	▲	▲	△	▲
	旅 行 業		△	△	△	△	△	△
	理 容 ・ 美 容 業		○	△	△	△	△	△
建 設 業	土 木 (岐 阜 地 区)		○	△	△	△	△	△
	土 木 (飛 騨 地 区)		○	△	○	△	△	○
	建 築 設 計		▲	▲	▲	▲	△	▲
	鉄 構 造 物		▲	▲	▲	△	△	▲
	電 気 工 事		▲	▲	▲	▲	△	▲
	管 設 備 工 事		△	△	△	△	△	△
	建 築 板 金		△	△	△	△	△	△
	室 内 装 飾		▲	△	▲	△	△	▲
	木 造 建 築		○	△	○	△	▲	△
	運 輸 業	貨 物 運 送 (岐 阜 地 区)		△	△	△	△	△
軽 運 送		▲	△	△	△	△	△	
其 他 の 非 製 造 業	貸 植 木 業		▲	▲	△	△	△	▲

凡 例

○ : [増加]、[上昇]、[好転]

△ : [不変]

▲ : [減少]、[下降]、[悪化]

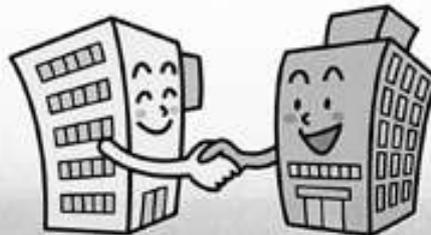
産業雇用安定センターは、設立以来19万人の支援実績をもつ出向・移籍の専門機関です

「利用料」
無料

人材移動の お手伝いをします

こんな場合は
ご相談ください

従業員に
余剰感がある



経験豊富な
即戦力人材が
ほしい

利用のメリット

- ① センター独自の人材情報
- ② きめ細やかな対応
- ③ ハローワーク等と併用可

お問い合わせ先

公益財団法人
産業雇用安定センター

岐阜事務所

〒500-8163

岐阜県岐阜市鶴舞町2-6-7

ワークプラザ岐阜3F

TEL: 058-246-7060

FAX: 058-246-7062

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

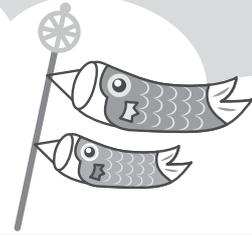


ご利用時間 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝は休業)

中央会人事異動等のお知らせ

中央会では、次のとおり人事異動を行いましたのでお知らせいたします。

- 異動 【総務課】細井美智子(組織支援課) ()内は旧所属
- 【組織支援課】西田慎悟(企画振興課)
- 【企画振興課】平井久美子(総務課)



中央会・専務理事交代のお知らせ

中央会の志村隆雄専務理事が3月31日をもって退任いたしました。志村専務理事は、平成28年4月より5年間、会員組合の支援強化などに取り組み、本会の発展に貢献されました。

また、後任には、川本敏(かわもとさとし) 参与が就任しました。本会の通常総会の議決を経て専務理事に就任する予定です。川本参与は、平成15年県に入庁され、商工労働部次長、岐阜県博物館館長等を歴任し、令和3年3月に退職されました。

令和3年経済センサス -活動調査を実施します

経済センサス - 活動調査は、我が国のすべての産業分野における事業所・企業の経済活動の状況を全国的・地域別に明らかにすることを目的としており、統計法に基づく報告義務がある重要な統計調査です。

調査時点は、令和3年6月1日です。調査票が届きましたらご回答をよろしくお願いいたします。

ぜひ、インターネットでご回答ください。



総務省・経済産業省・岐阜県・市町村

障がい者の力を職場で活かしてみませんか

岐阜県障がい者 雇用企業支援センター



働きたい障がい者と障がい者を雇用する企業を支援しています

障がい者の雇用に向けた提案・助言

就労相談会 (ジョブミーティング)

トップセミナー

社内の理解を促す出前講座

ジョブコーチ養成研修

ホームページはこちら

岐阜県 障がい者就労支援

検索



岐阜県障がい者雇用企業支援センター

〒502-8503 岐阜市学園町2-33

(岐阜県障がい者総合就労支援センター内)

TEL 058-215-0582

USBメモリはいつのまにか大容量化してました。多くのデータが保存できますが、それに伴う時間も必要になります。しかし、最新のUSB規格に合致したパソコンとUSBメモリであれば、保存時間が大きく短縮できるということです。

技術革新により様々な場面で利便性が向上しています。スマートフォンや携帯電話のデータ通信「4Gから5G」があります。USBもその一つと感じました。

これら最新技術とツールを知り、使いこなすことが必要であると胸に刻み、今回はここで閉じさせていただきます。

USBには数種類の通信速度の規格があり、以前の主流は「USB2.0」だったと思います。では現在の主流は「USB3.0」、「USB3.1 Gen1」、「USB3.2 Gen1」、「SuperSpeed USB」といった表記のものを見かけたことはないでしょうか。実はこの4種類、同じ通信速度を指しているとのこと。少し前までは「USB3.0」という表記であったものが、その後、最新規格が登場したことにより規格表記が変更されていったそうです。

皆様にとって、パソコンとはどういったものでしょうか？ノート型、デスクトップ型、一体型やタブレットPCがあり、主にお仕事で使用する機会が多いのでしょうか。それとも今はパソコンではなくスマートフォンを利用するという方が多いのでしょうか。

そのようなパソコンですが様々な端子があり、プロジェクトやプリンター、外付けHDDなどに接続ができる拡張性のある機器です。

今回は、このパソコンにある様々な端子の内「USB」について感じたことを綴りたいと思います。



総務課 主任 兼山 順平

職員コラム

中央会職員が
交代で徒然なる
ままに綴ります。

事業承継支援の相談を ワンストップで

第三者承継も親族内承継も事業承継相談のオールインワン窓口



- 後継者が決まっておらずどうしたらよいか
- 会社や事業を第三者に譲りたいので相手を探してほしい
- 後継者はいないが事業は継続させたい
- 会社や事業を譲り受けたい
- 事業継承の具体的な手順を教えてください
- 子供に事業を継がせたいがどのようにしたらよいか
- 後継者とともに今後の事業について考えたい
- 事業承継にあたり、借入金や保証人について相談したい

2021年4月より統合

事業承継ネットワーク事業
プッシュ型事業承継支援



事業引継ぎ支援センター

岐阜商工会議所
岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター

〒500-8727 岐阜市神田町2丁目2番地 TEL: 058-214-2940 FAX: 058-214-2941
E-mail: gifu-hikitugi@gshc.jp URL: <https://www.gshc.jp>